大人のみなさんへ

あそびっこから保護者のみなさんへのお便りです

あそびコラム 子どもの自発性をぐんぐん伸ばすには……

毎回、木材や布、ござなどを使って基地づくりをする小学生の兄弟がいる。プレイワーカーが関わらなくても、アイディアも工夫も尽きない。場所、外観、内装を、そのときどきで変えていく。よくこんなに思いつくな〜、と感心してしまうほど。これだけ次々にアイディアが出てきて、自分たちでどんどん遊ぶのは……いったい何故だろう？

その秘訣は…風呂にあり

兄弟のお父さんが話してくれた。「プレーパークで遊んだ日は、風呂でその日あったことを話すんです。最近は、こんな基地が作りたいって言う子どもと、じゃあこうするのはどうかな、こんな道具が使えるかも？とか一緒に話しています。毎回、みんなで次に作るものをイメージしているうちに、勝手に自分達で基地を作り続けるようになりましたね」

テレビでもおなじみの澤口俊之先生（認知神経科学）の『幼児教育と脳』（文春新書）の中に、「未来志向性」という言葉が出てくる。目標や目的をもって進んでいく未来に対する積極的な姿勢のことだそう。「未来志向性があればこそ、自発性はより確固たるものになり、体系だった努力も自発的に行うようになるのだ。」（同書より）

お父さんの「子どもが興味を持ったことについて話す」という関わりが、子どもたちを未来志向なマインドにし、基地づくりへの飽くなき挑戦へとつながっているのかもしれない。

話して膨らむ「もっともっと！」

遊ぶ子どもたちの中に湧き上がる、言葉にならない「これが楽しい！」「もっともっと！」という情熱。友達や家族、プレイワーカーと話すなかで、それがどんどん具体的に、じゃあこうしよう、ああしようと形になっていく様子は、遊び場でもよく目にする。

また、ゲーム以外にやりたい遊びがなかったり、少しでも難しそうだと「いいや」「やりたくない」としり込みする子たちにも、その子が何に「楽しい」と感じるかな？をプレイワーカーも一緒に探りながら、やりたいことの追求に付き合いたいと思っている。

週末の 30 分……お風呂でもご飯の時間でも、その日面白かったことをわいわい話す。みなさんのご家庭でもぜひ、やってみては？　子どもの自発性がどんどん育つ、かもしれないですよ！

あそびエピソード チャンバラは痛い!! さて…どうする？

小学校低学年〜中学年男子たち６人。力が有り余っているのが一目でわかる。そんな男子たちが落ちていた細くて軽い棒を見つけた。すぐに、チャンバラが始まる。最初はみんなやんわりと優しくやっていたが、一発強めのが当たると、やられた側は笑いながらもムキになってくる…“あぁ、男子だなぁ。バチバチやりたいんだよなー、でも目とか突っつくと嫌だなー”と近くで様子を見ていると、一緒にやろうぜ！と声がかかった。棒を１本もらって、参戦するも、やっぱり当たるとかなり痛い。「もっとバチバチやりたくない？これ痛すぎるんだもん。もうちょっと痛くないやつないかなー」と思ったことをそのまま伝えてみる。すると、「確かに。」と数人の男子たちが納得。「これいいじゃん！」と偶然近くにあった布を棒に巻きつけ始める。それなら、と僕は棒も使わず、長い布自体を武器にしてみる。それいいねーと１人の男子が布をいくつも持って、身体のあちこちに巻きつけ始める。布の先っちょを一つ結びにするとちょっとした重りになって、ヌンチャクの様に飛ぶ。それを見ていた１人の男子。俺はこうする！と砂場にあったキッチン道具のボウルを頭にかぶって、ガムテープをボウルから自分の顎までぐるーとくっつけて笑顔（痛そうだ笑）。そして、他の男子が、ダンボールを胴につけて、これで痛くない！とロボットのように歩きはじめる… etc 子ども達の中では、次から次へと“いいこと思いついた！”の嵐になっている。そして、思い出したように「戦いに行くぞ！」と一番年齢が上の子が声をかけ、みんなで勝負に出ていく。そして「おまえも行くぞ！」と呼ばれる。どうやら遊び仲間認定をしてもらえたようだ。

子どもに素直に思いを表現するって大事だと思っている。つい、だめ！とか痛いから嫌！とか、そんな言葉だけが口から洩れることも多い。でも、逆に痛くなければ、その遊びはしてもよいのだ。だったら、そちらも言葉にして伝えたい。その想いを伝えられるかが、楽しいに熱中できる雰囲気を作る鍵なのではないだろうか？

プレーパークは、身近な自然のなか、子どもたちの発想で自由に遊べる緑地です。何をして、どうやって遊ぶか？を、子ども自身が決められるよう、なるべく手や口を出さずに見守ってあげてくださいね。心配なこと、わからないことは、プレーワーカーにどうぞ声をかけてください。

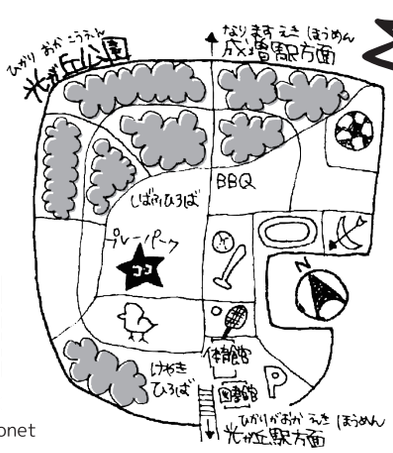
【発行】NPO 法人あそびっこネットワーク

NPO 法人あそびっこネットワークは、2003年、我が子たちの遊び環境の乏しさに不安を感じた小学生の親たちが、光が丘公園で「プレーパーク」を開催するためにできた団体です。2011年に練馬区「外遊びの場の提供事業」の補助金を受けて、現在は光が丘ひろっぱプレーパークの他に練馬区各所で「出張放課後プレーパーク」「おひさまぴよぴよ」を実施しています。

【お問い合わせ】あそびっこ事務局
住所：練馬区旭町 1–16–1
電話：03-3976-3113
（月〜金 9:30〜14:30）
Email：asobikkonet@gmail.com

あそびっこ HP
asobikkonet.com

facebook
fb.com/asobikkonet



開催日

毎週 土・日 曜日
午前 10 時から午後５時

＊第２土曜日はお休みだよ
詳しくはホームページを見てね！